

わたしたちが運ぶのは未来です

運輸省



みなと しみず

発行所

第五港湾建設局
清水港工事事務所

〒424 静岡県清水市日の出町7番2号
TEL 清水 <0543>52-4146(代)

清水港に

スーパーコンテナクレーン

コンテナ貨物船の大型化に対応するため、2月8日スーパークレーンが清水港袖師第一埠頭に据え付けられた。

清水港におけるコンテナ貨物の取扱量は年々増加し、93年の輸出入合計は297万トンに上っている。コンテナ船に関しても、ヨーロッパ航路を中心に船舶の大型化が進み、既

設のクレーンではアームが届かないなど十分な荷役作業ができない状況も生じている。

このため静岡県清水港管理局は約10億円の費用を投じスーパークレーンの設置を行なった。

新鋭機は高さ92・4m、アーム長46mと従来型より一回り大きく、就航するすべてのコ

ンテナ船に対応が可能となり、さらに一隻に対して従来のクレーンと合わせての同時作業もできることから、作業時間の短縮が図られる。

同機は「清水港みなと色彩計画」に沿って、白を基調にアクアブルーのアクセントが施され、スマートな配色となり、新たな清水港のシンボルとなった。

今後予想されるコンテナ需要の増加も当機導入により効率化が図られ、ポートセールの面からも清水港のますますの発展が期待される。



スーパーコンテナクレーン（袖師第一埠頭）

静岡庵地域振興方策調査報告の概要

（静岡庵地域の将来像へ向けて）

2月10日、当所所長が委員となつている「静岡庵地域振興方策調査委員会（会長竹内宏氏）」の最終委員会が静岡ターミナルホテルにおいて開かれ、当地域の振興方策が静岡県より示された。

同調査では、将来像におけるメインテーマとして活力ある国際情報文化都市圏の設定を掲げており、このテーマにそつて報告がなされている。

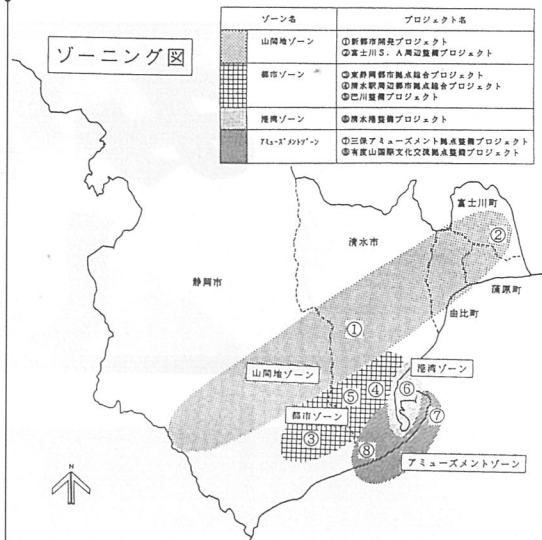
同委員会は地域活性化策を検討するため県が平成四、五年度に静岡総合研究機構に委託した調査研究事業で委員会でもまとめた振興策を次期総合計画などに反映させることになる。

報告では静岡庵地域を4つのゾーンに区分け。（山間地ゾーン、都市ゾーン、港湾ゾーン、アミューズメントゾーンの4つ）具体的なプロジェクトとして11の事業振興を示している。

清水港に関連するところとしては、基本方向として「国際海洋文化都市にふさわしい清水港と地域の文化特性を踏まえたウォーターフロントの振興整備」を掲げており、利用高度化推進、環境整備等の清水港整備、F A Z整備、清

水港沖合人工島整備、日の出地区再開発事業、CCZ整備

等を主要プロジェクトとして掲げている。沖合人工島整備プロジェクトについては長期的視点での引き続きの検討とのコメントを付けた。



また、港湾以外では静岡空港の整備、第二東名自動車道の整備、清水駅地区都市拠点の総合整備、振興拠点地域整備構想等多数の静清庵地域の振興方策が示された。

清水港港湾文化活用調査

第二回委員会開催

清水港の夜景と観光に関する第二回委員会が1月10日フエルケール博物館において開催された。メンバーも前回と同じく東海大学海洋学部酒匂敏次教授を座長に各界の有識者10名により行われた。今回の調査項目は次のとおりです。

▼調査項目

(1) 観光面から見た清水港の現状と今後の課題

① 清水港及び周辺の観光施設の集客実績と課題点

② 集客効果のある港の姿と

他港での成功例

③ “歴史と文化”を生かした港の整備方法

④ 新しい港湾整備プロジェクトへの提言

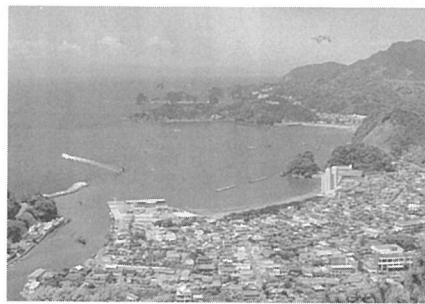
委員会では、長崎や横浜など他港の観光施設を参考に地元観光業者から見た清水港の「改善点、要望事項」など事前に行なった調査結果を事務局が報告し、これらを踏まえて検討がなされた。

委員からは、「日本一の水揚量を誇る『まぐろ』を生かした観光施設の整備」、「観光施設の案内板の設置、アクセシブル道路の整備」などの意見が出された。また、未来の街づ

くりを具体化させていく組織の必要性和その体制作りが課題として提案された。

今回の調査結果は「BAYS (BAY'S Water編)」として小冊子にまとめ配布しています。清水港の夜景や歴史文化を生かした港湾整備をすることにより、観光面を通しての港の活性化に役立てる狙いである。(長瀬和則)

静岡県の港シリーズ(九)



松崎港

▼松崎町

伊豆半島西海岸の南部に位置する松崎町の区域は、江戸時代には幕府直轄の地となり、山代官および諸侯の藩領として支配されていた。明治34年松崎村から町へ改称し、昭和30年に中川村、翌31年に岩科村と合併を重ね、温泉と美しい自然をもった町として現

在に至っている。

町の中央部を東西に流れる那賀川、岩科川は天城の溪谷に源を発し約500haの平野を作り駿河湾に注いでいる。海岸は波静かな白砂の入江になっているが、一方では黒潮が岩礁に砕ける断崖など変化に富んだ景観を見せている。

同町の特産品として桜葉が上げられる。桜葉は和菓子に使う桜の葉のことで、全国の約70パーセントが生産されている。海岸近くでの育成に適したオオシマザクラは畑で栽培され、5〜9月が収穫期となっている。水ようかんなどには生葉が使われるが、桜餅などには塩漬にされ翌年春に出荷される。

また、古くから優れたマユの産地としても知られていた。明治の頃には毎年5月15日に初マユの取引が行われ、「松崎相場」と呼ばれて全国の相場の基準とされていた。その当時の取り扱いは高は300貫(11,250kg)にも及んだと伝えられて

初瀬相場の碑



いる。現在のときわ大橋通りには「初瀬相場の碑」が建てられている。

▼沿革

松崎港は、那賀川と岩科川の合流する河口にできた港で、その北部に砂浜の海岸を有し、道路が未整備であった頃は木炭等地域生産物の搬出に重要な役割を果たしてきた。近年は観光及び産業の発展に伴い、沼津港や清水港との定期船の寄港地となっている。

さらに沿岸漁業の基地としての重要性も増している。現有の係船施設は、公共棧橋68m、物揚場(-1.5m)130m、同(-2.0m)224m、同(-2.5m)103m、同(-3.0m)57mが整備されており、松崎マリナーでは舟艇が陸上保管されている。松崎港における取り扱い貨物は、砂利、砂、石材等の建設資材が主で、平成4年度の取扱量は10万1千トンを超えている。

▼松崎MTP

松崎港マリン・タウン・プロジェクトは平成2年度に第五港湾建設局、静岡県、松崎町が計画を策定している。プロジェクトでは、300T級の客船や300T級のカーフェリーが接岸できる岸壁、それを支援する陸上のターミナル施設と

防波堤、さらにはレクリエーション機能として親水公園やマリナーの整備が計画されている。

▼伊豆の長八美術館

入江長八は江戸の左官として前後に比類ない名人であった。



龍の図

長八は文化12年(1815)当地に生まれ、12才のとき左官職人に弟子入り、19才のとき江戸へ出て狩野派の絵を学んだ。かたわら彫塑の技も修めて左官に応用し、コテと漆喰を使って絵を画き、長八独特の芸術を完成させた。

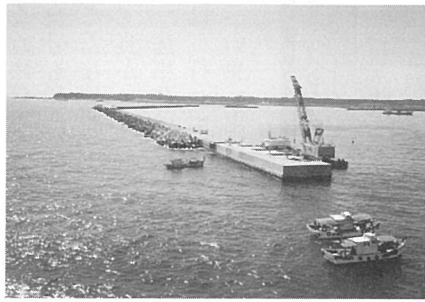
この名人の作品を展示しているのが、昭和59年7月に開館した長八美術館である。

(ウオーターフロント窓口)

御前崎港防波堤工事

現在、御前崎港では運輸省直轄工事として、防波堤(東)、同(西)の2本の防波堤工事を実施しているのが概要を紹介いたします。

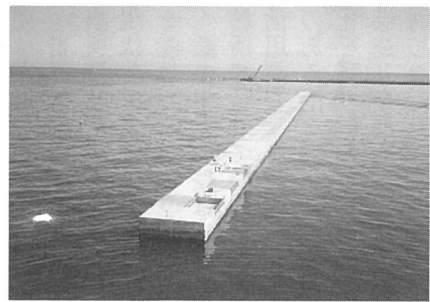
防波堤(東)は、計画延長が1200メートルあり、昭和53年度に現地着工して以来、早期に港内静穏度の確保を図るため鋭意施工を進めてきており、平成5年度までに暫定断面(天端高+5.0メートル)で814メートルが完成しています。また、平成4年度より港内静穏度が確保される見通しが着いたことと、10年を越える暫定断面区間を安定上の観点から完成断面(天端高+7.6メートル)で施工することになり、現在180メートルが完成しています。



建設中の防波堤(東)

防波堤(西)は、計画延長が1400メートルあり、昭和63年度より現地着工し、平成5年

度までに452メートルが完成しています。

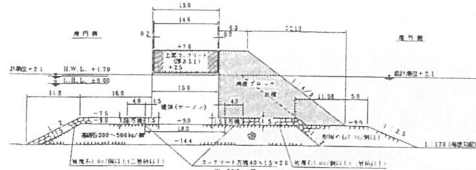


建設中の防波堤(西)
(写真右上は防波堤東)

平成5年度までに投入された事業費は、防波堤(東)が165億円、防波堤(西)が35億円、合計200億円となっています。また使用した主要資材は、防波堤(東)ではケーソン(1800トン) 54個、テトラポッド(50トン) 480個、石材54万立方メートル、上部コンクリート3.7万立方メートル。防波堤(西)では、ケーソン(1300トン) 25個、石材13万立方メートル、上部コンクリート4100立方メートルとなっています。次に防波堤工事の特色は、外海に面しており常に台風の影響を受けるので、この台風時期を外した11月から7月に海上工事が集中することになります。メインであるケーソン据付けを11月、引続きケーソンの安定を図るために上部コンクリート及びテトラポッド

ドの据付けを1月から7月に行っており、現在工事は順調に進捗しております。最後に地域の皆様にご期待される施設造りをするともに、無事故無災害で工事を完成させるように努めてまいりますのでよろしくお願いたします。

御前崎工場長 栗原行弘



防波堤(東)標準断面図<A工図>単位:m

工場だより

御前崎工場

青年の船に乗って

櫻井日出伸

前回は青年の船での概要を説明しましたが、今回は青年の船でどんな楽しみ方をしたのか、又どんな悲劇があったのか、報告します。

船の中にはバーがあり、常に自分は十人くらいの仲間といっしょに、ビールを4・5

本、ウィスキーを1・2杯、その内一気飲みを2・3回やっています。PM10時45分の消灯時間になると、民族移動が始まり、この時は役員(主催者側の世話人)の目を盗んで、女の子の部屋や野郎の部屋に行ったりして、酒を飲んでいました。そして、役員に見つかり、いったんは部屋に戻りますがまた移動します。自分も役員に見つかり、部屋に帰ろうとしたら鍵が閉まっていた。部屋は四人部屋で各自鍵を持っているのですが、運悪く部屋の中に置き忘れてしまったので、部屋の中の人に開けてもらおうと戸を叩いても一向に応答がありません。そのうち役員が三人から四人、四人から五人とじよじよに集まってきて最後に十人くらいになりました。その後、三十分くらい経ってから実行委員長というちょっと偉い人に、合鍵を持って来てもらい、自分の部屋で他の役員に三十分くらい説教されてしまいました。そして、役員が他の人も出て行ってはいないかと調べました。一人は船酔いであと二人は、カモフラージュ(その内一人は風船人形を使っていた)をしてあつて見つからずに済みました。その後、5分くらいたってから二人が役員に追いかけられ



船上パーティーの1コマ(櫻井右から3人目)

ながら部屋に戻って来ました。このようなことが、毎夜いろんな部屋で起っています。香港では、現地の人と交流するのですが自分ほとんど英語が話せないの、辞書と英会話の本で何とか話そうと思っただけですが、なかなか難しいので、最後には辞書の単語を指したり、本を渡して教えてもらったり、絵を描いたりしました。町の中では、肉屋に平然とぶたの頭が置いてあったり、日本のマンガの本が売られていたり、又、夜になると夜景が奇麗でした。香港を出航する時、バーが開いてなかったの、部屋にあるポットに焼酎を入れて、友達といっしょに飲んでいたら酔ってしまい、写真を撮るときは常に男女に関係なく抱きついてたようです。次の日、みんなの視線が冷かったことをよく覚えています。

これで、青年の船については終わりますが、実際はこんなことばかりでなく、いろんなためになる事もあります。自分も船に乗ったことで、いろんな仲間と会うこともできて良かったと思っています。当事務所の三十歳未満の方は、行って見ると、けっこういい思い出になると思います。

パンザーマスト建替

パンザーマスト (Panzer Mast)、ちょっと聞き馴れない言葉です。これは鉄板を組み合わせた円筒型電柱のことです。

清水港工務事務所のパンザーマストには気象、海象条件等を観測するため、波高計のテレメーターアンテナ、風向風速計、無線電話のアンテナが取り付けられており、港湾工事には欠かせないものです。当所のマストも設置後18年が経過し老朽化が進んだため、今回新替になりました。事務所の敷地内に設置された新しいマストは、東海大学短期大学部東恵子助教授の指導により、「みなと色彩計画」に従って白とアクアブルーに塗り分けられ、地上約20mの頂部は五建のシンボルカラーであるオレンジとブルーグリーン色のストライプが描かれました。



建替られたパンザーマスト

今後とも波浪、風向風速の観測データを収集し、港湾工事を安全に施工するため役立つことと思います。

工務課 松永洋明



清水港 日の出埠頭をリポート

SBSラジオ(静岡放送)

2月24日「SBSモーニングダイヤル」の中で、日の出埠頭の様子が紹介された。時間はAM7:40~45の5分間。当日の放送に先がけ、23日当所尾崎所長が「みなと」の現状と将来について電話取材を受けた。

話の中で所長は、現在当事務所で行っている「港湾文化活用調査」を説明し、集客力のある港を通して清水の活性化を図り、ロマン溢れる清水港造りを進めていることを強調した。

放送では、所長の取材をもとに変わりつつある日の出埠

頭の様子が生中継され、船による通勤風景など「みなと」の生の姿がリポートされた。庶務課 明 楽元(安藤輝明) 追伸:さすが放送のエキスパート。惟村智子キャスターの声はすばらしかった。

◆ 清水の史跡 ② ◆

◆ 壮士の墓

壮士の墓は、清水港工務事務所から西へ約四百メートルのところ築地町の巴川左岸にあります。

明治元年(一八六八)戊辰戦争で敗れた幕府方の軍艦八隻は、海軍副総裁榎本武揚に率いられ品川から函館へ向かった。



壮士の墓

このうち威臨丸だけが同年八月十九日、暴風雨のため清水港に漂着した。その一ヶ月後、傷んだ船体を修理していた同丸は、後を追ってきた三

管内の動き	
2月	1日 第3回清水港多目的上屋基本設計調査委員会
	10日 第5回静岡清庵地域振興方策調査懇談会 [静岡]
	21日 所長会議 [名古屋]
3月	1日 御前崎港船舶航行安全対策委員会 [静岡]
	7日 第6回清水港みなと色彩計画推進協議会
	10日 御前崎港振興会役員・関係機関連絡会 [御前崎]
	14日 下田港防波堤景観設計関連調査委員会 [下田]
	22日 下田港安全施工委員会 [下田]
4月	20日 清水港港湾機関長会議

隻の新政府の軍艦の襲撃を受け、船内に残っていた二十数名の幕臣全員が悲愴な最後をとげた。海岸に漂う死体は、官軍を恐れて誰も片付ける者がいない。その時、次郎長が「死ぬば仏だ、とがめあれば自分一人で責任を負う」と、ここ向島に手厚く葬った。この次郎長の行いに感激した山岡鉄舟は、後に建てられた墓石に「壮士の墓」と銘を書いたものです。